



えん がつごう 園だより 1月号

Y M C A 保育園ねがい
2025年1月6日発行

「受けるよりは与える方が幸いである。」

使徒言行録 20 章 35 節



新しい年を迎え、明るい日差しと、恵みの雨に感謝します。そして今も、戦いや争い、災害や病気によって心と身体を痛めている人が多くいる事を心に覚えて、今年こそ、みなさまに穏やかな日々が訪れることを心から願います。

さて、12月の機関紙でもお伝えしましたが、このたび、YMCA こどものうたが完成しました。

『ひかりのうた 作詞・作曲 新沢としひこ

「おおきなこえで うたうんだ
おひさまに きこえるように
こころに ちいさなおひさまを
しっかり もって いるんだと

おおきなこえで わらうんだ
あおぞらに てをふりながら
こころが ちゃんとつながった
なかまが ここに いるんだと

ひとり ひとり みんな みんな ひかり ひかり かがやいて

ほら せかいを（みらいを） そのひかりで てらしていくんだよ」

YMCAの歌を作る事は10年を超えるねがいでした。6月に教育・保育の全体職員研修でワークショップを行い、すべての園と学童保育の職員が自分の園の良いところを発表しました。

「個人がみんないいものをもって輝いていて、それが世界をその光で照らしていく、未来をその光でてらしていく」そんなメッセージがYMCA共通の平和の祈りだと新沢さんが書いておられます。これから、みんなで歌っていこうと思います。

新沢さんは『世界の中の子どもたちが』『ともだちになるために』をはじめ、こどもの歌、園歌等をたくさん作っているシンガーソングライターです。お父様の新沢誠治さんは東京YMCAをずっと支え、特にYMCAの保育の基礎を築いてくださった方です。一人ひとりが輝いている事をみんなで大切にして未来を照らす光を育てていきたいと祈ります。

これから、一年で一番寒い日を迎えます。クリスマスは冬至のお祭りといっしょになった事が、世界中に広がった理由の一つといわれています。

そして、春分は復活祭（イースター）と深く関わる春の行事です。ごいっしょに春を待ちたいと願っています。冬の間に心も身体もエネルギーを蓄えて、春の息吹のための健やかな時となりますように（園長 今井 世都）

